



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年12月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年12月18日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 新しい「渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館」の開館日が令和6年3月3日(日)に決まりました(資料1)
- 2 豪雨災害に備えるための道路施設緊急保全対策を実施します(資料2)
- 3 渋川市地球温暖化対策実行計画2018-2022に基づく
渋川市の令和4年度における温室効果ガス排出状況等をお知らせします(資料3)
- 4 令和6年度から物品入札の電子入札を開始します(資料4)
- 5 令和5年度第2回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします(資料5)

その他資料提供

- ・令和5年度市民意識調査を実施します(資料6)
- ・北橋中学校の啓発式に「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の保坂修平さんが講師として参加します(資料7)

○次回開催予定

日時：令和5年12月25日(月) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
12月18日(月)	9:00 終了後	庁議 令和5年度第2回渋川市DX推進本部会議	市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 DX・行政管理課
	13:00 14:30	市長定例記者会見 防犯パトロール出発式	市役所本庁舎 渋川警察署	政策戦略課 危機管理室
12月19日(火)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	13:30	令和5年度渋川市公民館活動功労者表彰式及び社会教育研修会	金島ふれあいセンター	中央公民館
	14:30	地域の命を守る体制づくり委員会報告会	市役所本庁舎	危機管理室
	18:00	渋川市白井宿ふるさと物産館地場産品直売所利用組合意見交換会	うぶかた	農政課
12月20日(水)				
12月21日(木)	9:00	令和5年度第2回渋川市内部統制推進・評価会議	市役所本庁舎	総務課
	11:30 14:00	渋川地区こんにく研究会ほかから要望書の提出 広域組合管理者査定	市役所本庁舎 広域組合大会議室	農政課 広域組合
	16:00	渋川へそ祭り実行委員会総会	市役所第二庁舎	観光課
	18:30	渋川中央ライオンズクラブクリスマス例会	ヘルシーパル赤城	商工振興課
12月22日(金)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
12月23日(土)				
12月24日(日)				
12月25日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 終了後	令和5年度ふるさと渋川学生奨励金授与式 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	教育総務課 政策戦略課
	14:30	令和5年度第4回渋川市太陽光発電設備設置審議会	市役所本庁舎	環境森林課
	18:00	渋川地区自治会連合会忘年会	プレヴェール渋川	市民協働推進課

新しい「渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館」の開館日が 令和6年3月3日(日)に決まりました

現在、渋川市役所第二庁舎の1階への移転改修工事を行っている「渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館」の開館日が、令和6年3月3日(日)に決まりました。

1 概 要

「渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館」は、現在、渋川市役所第二庁舎への移転改修工事(工期：令和5年6月20日～令和6年2月29日(木))を行っています。工事は、順調に進捗しており、仕上げの段階に入っています。この新しい「渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館」の開館日が、令和6年3月3日(日)に決まりました。

新美術館の常設展示室は、入場無料で彫刻家桑原巨守の作品を自由にご覧いただけます。また、企画展示室は、様々な企画展示を行うほか、市民ギャラリーとして貸し出しも行います。

2 開館・休館

- (1) 開館時間 午前10時～午後5時
- (2) 休 館 日 毎週火曜日(火曜日が祝祭日の場合はその翌日)

3 開館記念展

新美術館の開館を記念して、開館記念展Ⅰ「渋川を愛でる美術展2024」を開催します。

- (1) 開催期間 令和6年3月3日(日)～3月31日(日)
- (2) 会 場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室
- (3) 内 容 「渋川の街」をテーマとして募集した様々な作品を展示します
- (4) 観 覧 料 無料

4 美術館オリジナルグッズの製作

美術展のオリジナルグッズとして、桑原巨守の彫刻作品等をモチーフとしたポストカードやトートバック、クリアファイル、マスキングテープ、一筆箋等を製作し、販売します。

※製作にかかる予算額は63万円(令和5年度一般会計補正予算で措置済)

5 寄附の募集状況

新美術館の建設と運営のための寄附金を1口1万円で募集しています。

12月15日現在で、26件・468万円の寄附をいただいています。

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉（内線4930）

担当：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館
（電話0279-25-8216）

館長 中山 久子（内線4936）

管理学芸係長 橋爪 純（内線4937）

豪雨災害に備えるための道路施設緊急保全対策を実施します

近年、集中豪雨や台風等が頻発化する中、次年度以降の豪雨災害に備えるため、道路の側溝及び法面の改修工事等を実施します。

1 目 的

渋川市は、集中豪雨や台風等が頻発化する中、次年度以降の豪雨災害に備えるため、道路の側溝及び法面の改修工事等を実施します。

12月補正予算措置によって、事業の前倒しを図り、道路施設の安全性を早期に確保することが目的です。

2 内 容

側溝整備や法面保護工事により出水期の対応を図るため、各地域で緊急度の高い計7件の工事を実施します。

3 工事概要

(1) 渋川地区／側溝工事：2件

- ・市道1-1038号線外1路線側溝改修工事（半田地内・285.0m）
- ・市道南牧線側溝整備工事（金井地内・45.6m）

(2) 子持地区／側溝工事：1件

- ・市道4-4152号線外2路線側溝整備工事（横堀地内・107.5m）

(3) 赤城地区／側溝工事：2件

- ・市道芳ヶ沢線側溝改修工事（北赤城山地内・110.0m）
- ・市道勝保沢線側溝改修工事（勝保沢、北上野地内・303.0m）

(4) 北橘地区／側溝工事：1件、法面補修工事：1件

- ・市道上箱田栄線側溝改修工事（上箱田地内・237.0m）
- ・市道味噌野相之沢橋線法面補修工事（真壁地内・180.8m）

4 予 算 額

1億4,417万7千円

※令和5年度一般会計補正予算で措置済

■問い合わせ先

建設交通部 部長 柴崎 憲一（内線4700）

担当：土木維持課（電話0279-22-2502）

課長 木村 博之（内線4760）

管理係長 武井 博基（内線4761）

資料3

渋川市地球温暖化対策実行計画2018－2022に基づく 渋川市の令和4年度における温室効果ガス排出状況等をお知らせします

令和4年度において、渋川市の事務事業活動に伴って排出された温室効果ガスは、12,001t-CO₂（調整後排出係数を用いた算定値）となり、渋川市地球温暖化対策実行計画2018－2022の基準年度（平成28年度）より39.5%の削減率を達成しました。

1 内 容

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第15項の規定に基づき、「渋川市地球温暖化対策実行計画2018－2022」の年次報告書（令和4年度実績）を作成しました。その中で確認した渋川市の令和4年度における温室効果ガス排出状況をお知らせします。

なお、年次報告書は、今後、市ホームページに掲載します。

2 温室効果ガス排出量について

「渋川市地球温暖化対策実行計画2018－2022」において対象としている、渋川市が管理する施設等で行われた事務事業に伴う温室効果ガス総排出量は、令和4年度において12,001t-CO₂（調整後排出係数を用いた算定値）となりました。基準年度（平成28年度）と比較して、7,842t-CO₂の削減、39.5%の削減率を達成しました。

本計画では、省エネ法（改正前）が定める年平均1%以上のエネルギー使用効率の低減義務に基づき、5年間で約5%の削減目標を掲げていましたが、目標を大幅に上回る結果となりました。

本計画の進行管理を開始した平成30年度から令和4年度までの実績の推移は、調整後排出係数を用いた算定値で比較すると、下表のとおり、5年連続で温室効果ガス総排出量が減少しています。

【基準年度以降の温室効果ガス総排出量実績（調整後排出係数を用いた算定値）】

年度	平成28 (基準)	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	目標
総排出量 (t-CO ₂)	19,843	17,354	15,147	13,901	13,395	12,001	19,051
削減率 (%)	—	12.5	23.7	29.9	32.5	39.5	5.0

3 温室効果ガス排出量の取りまとめ結果

前年度と比較して温室効果ガス排出量が削減されている項目は「電気」（▲13.8%）、「気体燃料」（▲8.2%）、「公用車」（▲6.7%）の3項目でした。「佐久発電所由来非F I T非化石証書付き電力」を、令和4年9月から市有施設65カ所への調達を開始し、使用電力の実質CO₂フリー化の取り組みを行ったことや、次世代自動車の活用及び新型コロナウイルス感染症対策で普及したオンライン会議・研修に伴う公用車の使用頻度の減少等により削減したと考えられます。

一方で、前年度と比較して温室効果ガス排出量が増加した項目は「液体燃料」（＋7.1%）、「下水処理」（＋0.3%）の2項目でした。これは、新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた事務事業活動量の増加によるものと考えられます。

■非化石証書付き電力の調達による削減効果

調達施設数	市全体の使用電力量 (基準年度) (kWh)	非化石証書調達量 (kWh)	推定削減量 (t-CO2)
65施設	23, 636, 538. 4	4, 298, 292. 0	1, 964. 3

※推定削減量は、非化石証書調達量 (kWh) × 0. 000457 (t-CO2/kWh) (65施設が契約している東京電力エナジーパートナー (株) の基礎排出係数) により算出

※推定削減量は、基準年度の温室効果ガス総排出量 (19, 843t-CO2) の約9. 9%に相当します

■項目別温室効果ガス排出量及び基準年度・前年度との比較図

項 目		排出量 (t-CO2)					構成比 (%)	削減率 (%)	
		平成28年度 (基準年度)	令和3年度		令和4年度			基準年度比	前年度比
			(基)	(調)	(基)	(調)			
全体の排出量		19,843	13,403	13,395	13,995	12,001	100.0	39.5	10.4
電気		14,563	10,494	10,486	11,038	9,043	75.4	37.9	13.8
気体燃料	LPG	605	406		378		5.3	22.5	8.2
	都市ガス	214	286		257				
	小計	819	692		635				
液体燃料	ガソリン	318	250		255		13.0	56.4	-7.1
	軽油	225	139		140				
	灯油	1,868	687		734				
	A重油	1,170	383		434				
	小計	3,581	1,459		1,563				
公用車	自動車の走行	13	10		10		0.1	26.3	6.7
	カーエアコン	5	5		4				
	小計	19	15		14				
下水処理	終末処理場の処理	477	376		388		6.2	13.5	-0.3
	浄化槽の処理	383	368		358				
	小計	860	744		746				

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良 (内線1100)

担当：環境森林課 (電話0279-22-2114)

課長 照井 清豊 (内線1140)

森林・気候変動対策係長 山田 豊 (内線2130)

令和6年度から物品入札の電子入札を開始します

渋川市は、DX推進による業務改善を目的として物品入札の電子入札を導入します。これまでも公共工事等の電子入札を実施してきましたが、物品入札についても入札参加者の負担を軽減し、入札契約事務手続の効率化を図るため、電子入札の実施対象を拡大します。これにより入札手続の透明性や公平性を確保し、併せて競争性の向上にもつながることが期待されます。

1 目 的

紙入札により行っていた物品入札を電子入札方式の導入をすることで、一堂に会して行っていた入札参加者の負担を軽減し、職員の入札契約事務手続の効率化等を図ります。

2 対 象

予定価格税込み80万円を超える物品調達に係る入札で、令和6年4月1日以降に行う案件のうち、指名業者全てがICカード登録者である案件

※令和4年度に紙入札で物品入札を実施した件数は54件です

3 実施方法

電子入札には、事前のICカード登録やパソコンなどの動作環境の整備が必要であることから、事業者に対してホームページ等で周知を行い、参加者の理解と協力をいただきながら推進していきます。

4 導入時期 令和6年4月1日(月)

5 そ の 他

県内では、10市が導入しています。

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也 (内線2100)

担当：契約管理課 (電話0279-22-2369)

課長 三井 雅行 (内線2151)

契約検査係長 青木 博 (内線2156)

令和5年度第2回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします

渋川市は、今年度新規導入した「市政モニター」制度を活用し、46人の市政モニターを対象としたアンケートを実施しました。25人から回答をいただいたアンケートの集計結果をお知らせします。

このアンケート結果は、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市ホームページで公開します。

1 概要

渋川市は、市の政策や計画策定などに対する市民意見を聴取し、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市政への市民参加の実現と開かれた市政を推進するため「渋川市市政モニター」設置しました。今年度は、市内関係団体からの36人と公募による10人の計46人を、市政モニターに登録しています。

今回、令和5年度第2回市政モニターアンケートとして、「渋川市の魅力」、「市ホームページ」、「食品ロス削減に向けた取り組み等」をテーマにしてアンケートを実施しました。

このアンケートの結果をお知らせします。

2 アンケート実施期間 令和5年10月20日(金)～11月2日(木)

3 アンケート実施対象 令和5年度渋川市市政モニター46人
※市内関係団体からの推薦による登録者36人及び公募による登録者10人

4 回答状況 回答者：25人（20～70歳代） ※回答率：54.3%

5 アンケート集計結果 別紙のとおり

6 令和5年度のスケジュール

- (1) 第1回：令和5年8月に実施、結果を11月に公表
- (2) 第2回：令和5年10月に実施、結果を12月に公表
- (3) 第3回：令和5年12月に実施、結果を1月に公表（予定）
- (4) 第4回：令和6年2月に実施、結果を3月に公表（予定）

※12月末までアンケート項目を募集中

7 その他

今回のアンケート結果を、事業担当課を含む庁内の全所属に共有し、各施策の今後の展開に反映できるよう検討していきます。

参考

1 市政モニター登録者の情報

(1) 居住地

渋川地区（24人）、伊香保地区（8人）、小野上地区（1人）、
子持地区（5人）、赤城地区（2人）、北橘地区（6人）

(2) 年 齢

20歳代（3人）、30歳代（12人）、40歳代（3人）、50歳代（9人）、
60歳代（13人）、70歳代（6人）

(3) 職 業

会社役員、会社員、団体職員、パート、主婦、医療関係、介護関係、
美容関係、建築関係、旅館業、食品製造、花屋、農家、僧侶、弁護士、
自営業、大学生、無職

(4) 性 別（推薦による登録者のみ）

男性＝21人、女性＝15人

2 これまでのアンケートの回答状況

(1) 第1回

- ・実施期間：令和5年8月28日（月）～9月8日（金）
- ・回答状況：回答者38人、回答率82.6%

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 佐藤 多恵子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

広報係長 熊迫 徳三（内線2416）

令和5年度 第2回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和5年度 第2回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 【調査対象】 令和5年度市政モニター（公募10人・団体推薦36人）
＜モニターの要件＞
- ・市内に住所を有する18歳以上の人
 - ・公務員や地方公共団体の議員などでない人
 - ・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人
- 【実施期間】 令和5年10月20日(金)～11月2日(木)
- 【実施方法】 主に電子申請による（一部、書面（郵送）調査）
- 【実施内容】
1. 市の魅力発掘・再発見について（問1～問2）
 2. 市ホームページについて（問3～問4）
 3. 食品ロス削減に向けた取り組み等について（問5～問8）
- 【回答状況】 アンケート調査回答者：25人（20歳代～70歳代）
回答率：54.3%

参考

＜アンケート回答者の情報＞

- (1) 居住地 渋川地区（12人）、伊香保地区（4人）、小野上地区（0人）、子持地区（3人）、赤城地区（2人）、北橘地区（4人）
- (2) 年 齢 20歳代（1人）、30歳代（6人）、40歳代（1人）、50歳代（6人）、60歳代（8人）、70歳代（3人）

＜前回アンケートの回答状況＞

- 回答者：38人（20歳代～70歳代）
■回答率：82.6%

渋川市
(政策戦略課)

令和5年度 第2回
渋川市市政モニターアンケート結果

1. 【市の魅力発掘・再発見について】

市は、本市のイメージアップとブランド力を高めるため、市内全域に広がる数多くの「食」・「自然」・「歴史」などの資源に改めて焦点を当て、「市の宝」と呼べる資源の掘り起こし、または、新たに「市の宝」と呼べるものを生み出すことにより、本市の新たな魅力発信と観光誘客につながる事業の創出を目指しています。

問1 あなたが考える「渋川市の魅力」を教えてください。

【主な回答】

- ・伊香保温泉街の温泉まんじゅう。お店によってまんじゅう生地や、あんこに違いがあるので食べ比べても楽しい。
- ・伊香保森林公園の風穴は、真夏のとても暑い日の朝に行くと温度差で神秘的です。
- ・渋川＝アジサイのイメージはあまり持たれていないと思います。アジサイを市の花にしているところはそれほど多くなく、全国的にもアジサイはどこ？という固定概念もないと思うため切り込む余地はあるかと。
- ・天然鮎。渋川市は鮎が居着くとされる清流域に属しますが、日本でも指折りの海から遠い場所であり、河口からの距離の長さは国内でも有数です。数ある人工的な障害物を乗り越えここまでの長距離を泳いでやって来る鮎はかなり希少価値が高いといえます。
- ・長峰公園のつつじと絶景の景色。この公園は知る人ぞ知る絶景のつつじの公園です。ゴールデンウィークが終了してからが満開になり、静かになる温泉街の起爆情報としても集客が考えられます。ですが近年、つつじの花がピーク時に比べて半分以下の花しか咲かなくなりました。榛名街道脇のつつじはほぼ咲きません。草刈りをしなかった為に蔓に巻かれてしまい、絶えてしまっています。もう1度あの公園が真っ赤な絨毯をイメージさせる公園作りを渋川市でお考えください。
- ・渋川市出身の選手はそのスポーツ界を牽引する存在である。また、スポーツ施設数においては他の市と比べても引けを取らないと思う。
- ・三原田の歌舞伎、津久田の人形、川島や行幸田の獅子舞、太々神楽、八坂神社の神輿や山車祭りなど有形無形の文化財。また近年発掘された金島地区や子持地区の遺跡や浅間石など歴史的にも価値のあるものも多い。さらに言えば、赤城のヒメギフチョウの保護活動なども誇れるものだと思う。白井城が有名ですが、それ以外にも古城址として有馬や行幸田・寄居・入沢・金井寄居・剣城・鎧山・伊香保などといくつもあるそうです。

問2 問1で回答いただいた渋川市の魅力のPR方法についての考え・案を教えてください。

【主な回答】

- ・食のPRに当たり、渋ペイ画面に広告や割引券を表示する。
- ・市外の人向けのPRとして、駅前で定期的にイベントを行う。
- ・良く終わってから知ったイベント、当日にほんとマップメールで知ったイベント、等の経験があります。広報やHPは比較的見ている方だと思うのですが上記状態ですので、HPや広報で周知してもいいのかもしれませんが。(HPや広報にイベントページを設けるのも手かと。)
- ・スポーツに関するPRに関して、渋川市出身スポーツ選手や市内スポーツ施設の特集など、広報・市ホームページ・SNS等で発信する。特に市内スポーツ施設の予約フォーム活用を推進する(この予約フォームが非常に使いづらい、施設別の検索しかできないので日別で空き状況を見れるようにしてほしい)。
- ・市内向けのPRは、ツアーやパンフレットで、もっと渋川を知ってもらうことが良いと思う。渋川の良い所は、と言われた時にパッと頭に何がいくつ浮かぶか考えてほしい。
- ・市の歴史(浅野総一郎がつくった関東水力電気(株)、関東3社)に関する市民向けPRとして、小中学校の児童生徒向けに校外学習として見学してもらう。

2. 【市ホームページについて】

現在の市公式ホームページは、情報の探しやすさと災害時の対応力を向上させるため、令和2年にリニューアルを行い、レイアウト・デザインの変更や検索機能などの強化を行いました。

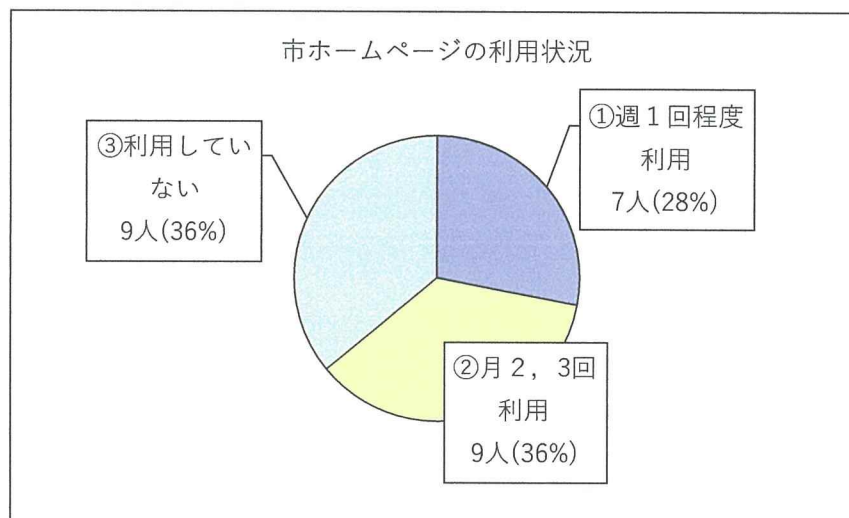
市は、現在のホームページの契約が満了となる令和7年に、さらに利用しやすく、見やすいホームページを目指して、ホームページのリニューアルを予定しています。

問3 市のホームページの利用状況を教えてください。

①週1回程度以上の頻度で閲覧している（7人）

②月に2，3回程度の頻度で閲覧している（9人）

③市ホームページは利用していない（9人）



<結果>

全体的には、半数以上の人がある程度市ホームページを利用していることが分かります。30・50・60・70歳代からは複数人の回答がありましたが、その内、30歳代については、利用しないと回答した人が6人中5人と多く、該当者の意見として検索方法の改善に対する意見が見られました。対して50～70歳代は、半数以上がある程度利用していると回答しています。

なお、50～70歳代のある程度利用している人からも検索方法に関する意見が見られました（検索事項がヒットしないなど）。

問4 上記「問3」で回答した内容に合わせて下記に回答してください。

■①または②と回答した方（16人）

市ホームページの使い勝手や利用しての感想などを自由に記入してください。
また、リニューアル時に重視すべき事項について意見があれば記入してください。

【主な回答】

- ・検索しても知りたい情報が出てこないことが多い。知りたい情報にたどり着くまでに、時間がかかる。
- ・レイアウトや構成は、他の市町村に決して引けは取らない構成だと思っています。構成はシンプルであり、他市町村と比べても見やすい構成と思っています。しかしながら各コンテンツについては、文字情報が多く、画像やサンプルなどが少ない。
- ・見つかった情報が古い等が気になることが多いです。
- ・暮らし関係は、配布物があるのでHPは閲覧しない。リニューアルするのであれば配布物を無くしたHPにするか議論が必要。
- ・申請書ダウンロードは分野別に整理され良いのですが、補助金交付申請などは見つけにくいので、この部分に検索があるとありがたいと思います。
- ・検索機能を利用する事が多いが、ヒットするケースが少ないため、何度か作業することが多い。
- ・使い勝手はとくに悪いということはないが、あまり面白みがない。

■③と回答した方（9人）

その理由を記入してください。

【主な回答】

- ・広報で見逃した情報等がない限り、アクセスする必要がある。市のホームページでしか得られない情報とはなんだろうか？
- ・特に調べる事が無いので調べる事がある時だけ見ます。LINEに、市のお知らせ、ホットマップメールも来るので。
- ・全く利用していないわけではないが、月に2、3回も見ません。助成金や、ゴミについてや、年末調整や確定申告についてなど調べる時は利用させてもらっているの、その辺りをもっと見やすく、調べやすいようにしていただけたらなと思います。
- ・みにくい、操作しにくい。
- ・役所で使用される申請用語がわからなくて検索がそもそもできないという事態がしばしば起こる。
- ・知りたいことがあり検索したが分かり難かった。

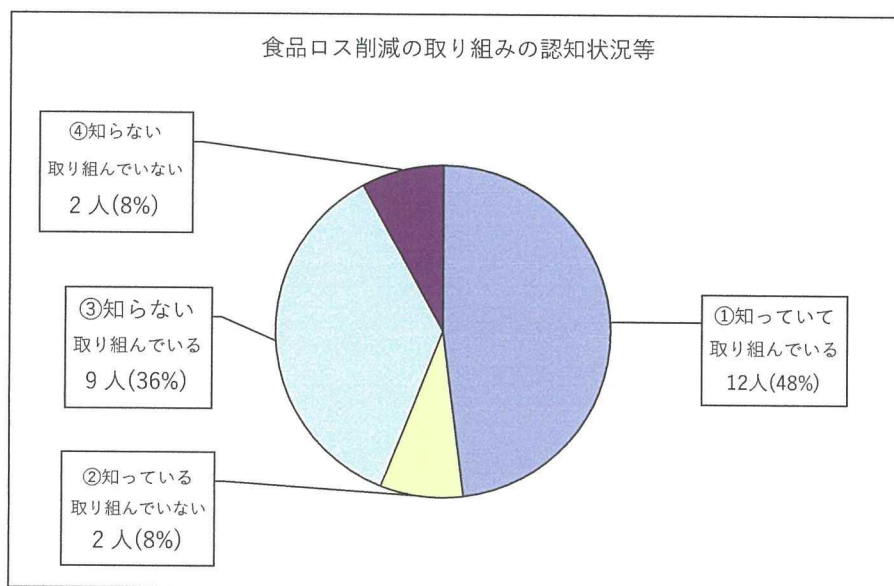
3. 【食品ロス削減に向けた取り組み等について】

市は、令和3年4月に「渋川市もったいないの心を持って食品ロスの削減を推進する条例」を施行しました。また令和5年3月には、令和5年から令和14年を対象期間とする「渋川市食品ロス削減推進計画」を策定し、市内における食品ロス削減を推進しています。

これらの条例・計画では、行政・市民・事業者の区分で、それぞれが取り組むべき責務を明確にしており、その取り組みのひとつとして、食品ロス削減に取り組む市内飲食店などを「しぶかわフードラブ協力店」に登録しています。登録事業者は、食べきれる量の料理の提供や食品ロス削減の啓発ポスターの掲示等により、利用者への食品ロス削減の呼びかけなどを実施しています。

問5 「渋川市もったいないの心を持って食品ロスの削減を推進する条例」、「渋川市食品ロス削減推進計画」を知っていますか。

- ①知っていて、食品ロス削減に取り組んでいる（12人）
- ②知っているが、食品ロス削減には取り組んでいない（2人）
- ③知らないが、食品ロス削減に取り組んでいる（9人）
- ④知らなくて、食品ロス削減に取り組んでいない（2人）



<結果>

市の食品ロス削減の取り組みの認知度は、知っている人がやや多いものの、おおむね半数となる結果となりました（56%—44%）。対して、食品ロスに取り組んでいる人は年代にかかわらず多く、全体の8割以上という結果になりました。「市が食品ロス削減に取り組んでいることが知られている」とは言いがたい状況ですが、「市民の食品ロス削減への意識は高い」ようです。

問6 上記「問5」で回答した内容に合わせて下記に回答してください。

■①または③と回答した方（21人）

食品ロス削減のために取り組んでいることを教えてください。また、市民の皆さんに食品ロス削減に取り組んでもらうために必要だと思うことを教えてください。

【主な回答】

- ・スーパーで手前から購入する。冷蔵庫の状況をみてから買い物へ行く。近所の親族宅に余りそうな物をシェアする。
- ・継続して市民に知らせる事が大切。食品ロスと言ってもどういう事が食品ロスなのか分からない人も多いと思います。
- ・基本的に無駄な買い物は避けています。生ゴミ等が出ても庭の畑に埋めたりして活用し、ゴミも減らす努力中です。
- ・買いすぎない、作りすぎない、皮を薄く剥く、消費期限のながいものを買う
- ・食品ロス＝ゴミの増加ということで食品ロスの取り組みもゴミの削減につながる所以この観点からのPRの継続も重要かと。あと比較的外食する身としては分量を選択できる・できないが結構ポイントになると思います。
- ・市民に取り組んでもらうためには、食品ロスの排出者という意識を持ち、自身が排出する食品ロスについて、まず適切に把握することかと思っています。適正なものを適正な価格で購入するという意識を皆で持てるようになれば、価格競争が抑えられ、業者さんも過剰な在庫をかかえないで済むことにつながると思います。
- ・「環境保全のために食品ロス削減しましょう」というのは頭では理解できるが、規模が大きく実感しづらいため、熱心に取り組む方は少ないのではと思う。もっと身近でイメージしやすいところから実践してもらうことで、結果的に食品ロス削減に繋がると思う。
- ・残したりするというのは、自身の食事量を把握してないということであると思うので、自分の身体的健康面にも意識が向くように取り組む必要があると思う。
- ・食べ残しをしないように気をつけているが、作っても残ってしまったりするので味変のリサイクル料理のレパートリーを増やしたいし、知りたい。

■②または④と回答した方（4人）

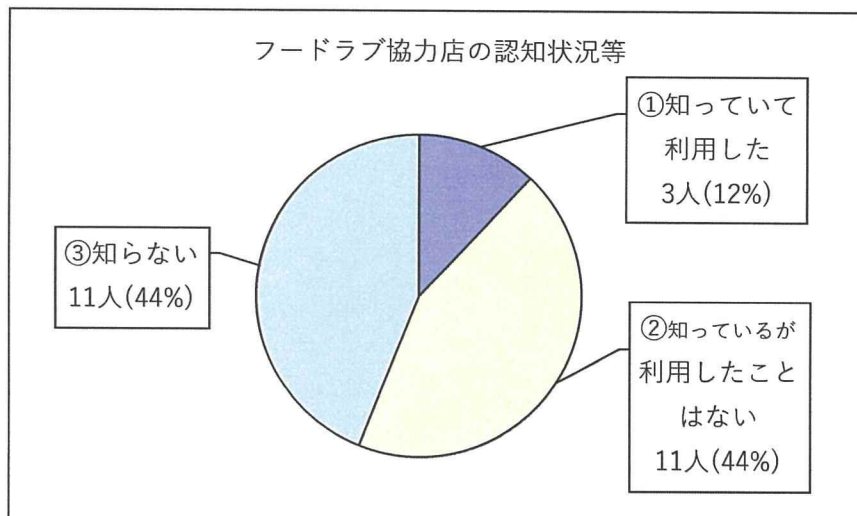
今後、食品ロス削減に取り組みたいと思いますか。また、その理由を教えてください。

【主な回答】

- ・賞味期限が近い食品や規格外の野菜や果物が安く売っていれば、ぜひ買いたいと思います。

問7 「しぶかわフードラブ協力店」を知っていますか。

- ①知っていて、利用したことがある（3人）
- ②知っているが、利用したことはない（11人）
- ③知らなかった（11人）



<結果>

フードラブ協力店制度の認知度は、知っている人がやや多いものの、おおむね半数となる結果となりました（56%－44%）。対して、フードラブ協力店を利用したことがない、または、制度を知らない人は、8割以上という結果になりました。

制度に対しては前向きな意見が多く、問5の集計結果でも分かるとおり、市民の食品ロス削減への意識は高いことがうかがえますが、その店を使うメリット（渋 Pay ポイントの付与など）または、フードラブ協力店に登録するメリット（「協力店登録したら宣伝してもらえる」や「協力店だけのクーポンやキャンペーンに参加できる」など）の検討が必要だという意見もありました。

問8 市は、「しぶかわフードラブ協力店」制度をより広く市民及び事業者に普及したいと考えています。この制度についての考えや制度を普及するために必要なことなどについての考えを自由に記入してください。

【主な回答】

- ・イベントなど開催後は広報で結果報告する。土日にスーパーや公園で認識してもらえるようイベント、チラシ配布をおこなう。
- ・幼稚園、保育園、小中高校生それぞれの年齢層に合った分かりやすい冊子を作成、学校等を通して配布。子どもを介すれば親の手元にも届きやすくなると思います。
- ・渋川市のLINEとかSNS等での広報が若者には1番目に入ると思います。
- ・広報に載せる、渋ペイの店舗表示にマークを付ける。
- ・普及させるための施策は必要だと思います。そのためもっと選択肢は増やしてもいいのかな、と。私が前橋で経験したお店では、全部食べ切ったらコーヒ一杯無料サービスしてくれました。残さなかった場合の特典（無料サービス、割引、ポイント追加）や小盛りを選択した場合の割引などの助成についても制度が軌道に乗るまでは必要なのかもしれない。
- ・イベント会場の一角にPRコーナーを設けるなども効果的かと思います。業者に対しては、協力店を増やす取り組みとして、業界向けの講習会などを開催する際、二部構成でフードラブ協力店制度の説明や、取り組み事例などを話されると良いかと思います。
- ・協力店が増えれば、市民一人ひとりの食品ロス削減への意識が根付いてくると思う。事業者への普及として、協力店登録したら宣伝してもらえる、協力店だけのクーポンやキャンペーンに参加できるなどのメリットを増やすことが必要だと感じる。
- ・自社でも協力店の登録をしていますが、難しいです。
- ・取り組みの結果によるメリットが、イメージの良さなどというのはどうしても普及させるという点を考えると難しいと思える。
- ・該当店舗を利用した際に渋ペイなどのポイントが付くようにすれば少しは普及するのではないかな。

令和5年度市民意識調査を実施します

市民生活及び市民の市政に対する意見や要望を把握し、渋川市のよりよいまちづくりを推進していくための基礎資料とするため、令和5年度市民意識調査を実施します。

1 目 的

市民の渋川市行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするために、市民意識調査を実施します。

2 調査内容

(1) まちづくりの取組に対する満足度・重要度の調査

(2) 個別の施策に対する意向調査

※今回の調査では、行政手続きのオンライン化や市の景観整備、日常生活での移動手段などに関する質問項目を追加しています。

3 調査方法

調査票を対象者に郵送にて配布し、調査票に同封する返信用封筒により回収します。

4 調査期間 令和6年1月上旬～1月31日(水)

5 調査対象

令和5年11月30日現在において、渋川市に住所を有する18歳以上の市民から無作為に抽出した4,000人を対象とします。

6 周知方法

広報しぶかわ（令和6年1月1日号）及び市ホームページに調査実施の案内を掲載します。

7 調査結果の公表

調査結果は、後日市ホームページにて公表予定です。

なお、過去の調査結果は下記URLに掲載しています。

※URL http://www.city.shibukawa.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/dainizisogokeikaku/p004959.html

8 その他

市民意識調査のほか、市内の中学校、高等学校の学生（第2学年）及び渋川特別支援学校高等部の学生を対象に、同様の調査（設問は生徒向けのものとしています）を同時期に実施します。

こちらの調査は、二次元コード等を記載した調査案内を各学校へ配布し、オンラインで実施する予定です。

調査結果は、市民意識調査と同様に公表する予定です。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 佐藤 多恵子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8554）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

政策創造係長 坂本 和馬（内線2422）

北橋中学校の啓発式に「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の保坂修平さんが講師として参加します

渋川市のブランド力の向上及びイメージアップを図ることを目的として設置している「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の保坂修平さん(ジャズ・ピアニスト)が、北橋中学校の行事に講師として参加し、講演やピアノ演奏の披露のほか、吹奏楽部とセッションを行います。

1 概 要

渋川市立北橋中学校で、伝統行事の「啓発式」を開催します。これは、中学校生活半ばとなる2年生が、これまでの自分を振り返り、望ましい自分のあり方を考え、下級生や教職員、保護者の前で、残された中学校生活について決意を新たにし、誓いを立てる行事です。

今回、啓発式の開催記念行事として、「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の保坂修平さんに講師として参加いただき、記念講演と演奏会を行います。保坂さんには、「ジャズの魅力と楽しみ方」についての講演やピアノ演奏を披露いただくほか、北橋中学校吹奏楽部とセッションしていただきます。

2 日 時 令和5年12月21日(木) 午後1時20分～3時30分

3 場 所 渋川市立北橋中学校 体育館(渋川市北橋町真壁46番地)

4 内 容

- (1) 啓発式(午後1時20分～2時10分)
- (2) 記念講演・演奏会(午後2時20分～3時30分)
 - ・講 師 保坂修平さん(ジャズピアニスト)
 - ・演 題 「ジャズの魅力と楽しみ方」
 - ・演奏会 ピアノ演奏の披露と吹奏楽部とのセッションを行う予定です

5 大使プロフィール

保坂 修平さん(ジャズ・ピアニスト)

渋川市出身のジャズ・ピアニスト。東京藝術大学卒業。ジャズ、クラシック、ポピュラーの要素をバランス良く取り入れた幅広く柔軟な音楽性に定評がある。俺のフレンチなどを展開する「俺の株式会社」音楽部門の首席演奏者として様々なバンドのアレンジ・プロデュースを担う。人気コンテンツ「映画音楽メドレー」「ジブリメドレー」を含むYouTubeチャンネル「保坂修平のピアノ音楽」は、登録者2万4千人を超える。

令和4年7月1日に、日本のまんなか しぶかわ応援大使に就任し、現在2期目の取り組みの中、今回の事業にご協力いただく運びとなりました。



6 その他

当日は、約200人（1・2年生とその保護者、教職員）が参加予定です。

■問い合わせ先

〈日本のまんなか しぶかわ応援大使について〉

総合戦略部 部長 佐藤 多恵子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

広報係長 熊迫 徳三（内線2416）

〈学校行事について（取材の申し込みなど）〉

渋川市立北橘中学校（電話0279-52-2400）

担当：教頭 干川 多賀幸